

竹内愛二教授年譜・著作目録

< 年 譜 >

- 明治28年6月 京都市に生まれる
- 大正2年3月 同志社中学（当時普通学校）卒業
- 大正2年4月 神戸三菱造船所入社
- 大正12年9月 同造船所を休職（一年後退職）
- 大正13年9月 米国カリフォルニア州ポモナ大学入学
- 大正15年9月 米国オハイオ州オベリン大学へ転入学
- 昭和3年6月 同大学卒業 B. A. の学位をうける
- 昭和3年9月 同大学大学院入学，同時にウエスタン・リザーブ大学応用社会科学学校において社会事業の研究および実習に従事する
- 昭和4年6月 オベリン大学大学院卒業，M. A. の学位をうける
- 昭和5年7月 神戸女学院専門部および神戸女子神学校嘱託講師に就任（社会学・社会事業学担当）
- 昭和6年4月 神戸女子神学校社会事業科主任教授に就任
- 昭和14年4月 同志社大学文部部講師に就任，のち教授に昇任（社会事業学担当）
- 昭和21年3月 同大学退職
- 昭和21年4月 灘生活協同組合文化部長に就任，日本協同組合同盟中央委員および全日本生活協同組合連合会常務理事を兼ねる
- 昭和22年12月 厚生省嘱託，兵庫県共同募金委員会相談役を兼ねる
- 昭和23年3月 灘生活協同組合を退職
- 昭和23年4月 関西学院大学文学部嘱託講師に就任（社会事業学担当）
- 昭和24年4月 同大学専任講師に就任
- 昭和27年4月 同大学文学部に社会事業学科が増設され，同教授に昇任
- 昭和31年4月 同大学大学院文学研究科修士課程指導教授に就任
- 昭和35年2月 関西学院大学より文学博士の学位を授与される。学位論文「専門社会事業研究」
- 昭和35年4月 同大学社会学部増設に伴い，社会学部教授に就任
- 昭和36年4月 同大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻修士課程設置に伴い，同指導教授に就任
- 昭和39年4月 同大学院社会学研究科社会学専攻博士課程指導教授に就任
- 昭和40年11月 兵庫県文化賞を受賞

< 学界ならびに社会における活動 >

日本社会事業学校連盟理事
 兵庫県共同募金会常任参与
 日本ソーシャル・ワーカー協会名誉会長理事
 神戸市社会福祉審議会委員
 神戸市市政専門委員(民生部委員長)
 尼崎市社会保障審議会委員

兵庫県社会福祉協議会理事
 兵庫県児童福祉審議会委員
 日本基督教社会福祉学会会長
 神戸市共同募金会調査委員長
 西宮市社会保障審議会委員
 交通労働福祉センター理事長

< 著 作 目 録 >

— 著 書 —

書 名	出 版 社	発行年月
現代の基督教会と社会問題及社会事業 (竹中勝男氏と共著)	日本組合基督教会社会部	昭和6年
児童教養の社会学的考察 (思慮ある母達の為に)	日 曜 世 界 社	昭和8年
ケースワークの理論と実際	巖 松 堂	昭和13年
現代アメリカの経済及文化 (杉森孝次郎氏その他と共著)	白 揚 社	昭和15年
ケースワークの技術	中央社会福祉協議会	昭和25年
グループ・ワークの技術	中央社会福祉協議会	昭和26年
ケースワークの理論と実際(改訂版)	巖 松 堂	昭和27年
コミュニティ・オーガニゼーションの技術	中央社会福祉協議会	昭和28年
科学的社会事業入門	黎 明 書 房	昭和30年
青少年問題の新しい理解と対策	大阪市少年防犯協議会	昭和30年
専門社会事業研究	弘 文 堂	昭和34年
実践福祉社会学	弘 文 堂	昭和40年(予定)

— 論 文 —

題 目	掲 載 雑 誌	発行年月
社会事業教育運動としての共同募金	社 会 事 業	昭和10年1月
児童観の変遷と児童保護の使命	兵 庫 県 社 会 事 業	昭和13年4月
厚生事業における個別生活指導法	同志社大学厚生学会報	昭和17年7月
厚生技術としての青少年の生活指導について	同志社大学厚生研究	昭和19年11月
社会福祉協議会の基本問題	関 西 学 院 大 学 人文論究第1巻第3・4号	昭和26年12月
社会福祉事業法の批判	社 会 事 業	昭和26年4月
我国セツルメント事業の諸問題	関 西 学 院 大 学 人文論究第2巻第5・6号	昭和27年2月
社会福祉協議会のあり方	社 会 事 業	昭和27年3月
父母間の問題と子女福祉との関連に就いての一事例研究	関 西 学 院 大 学 人文論究 第3巻第6号	昭和28年3月

社会事業における「抵抗」について	関西学院大学 人文論究 第5巻第2号	昭和29年7月
性問題の理論的考察	社会事業	昭和31年8月
都市福祉問題の社会学的考察	都市の福祉	昭和32年4月
ケースワーク、カウンセリングおよび 精神療法	社会事業	昭和32年4月
A Psycho-social Review of Social Problems and Social Welfare Work in Japan	第9回国際社会事業会議 研究旅行委員会報告書	昭和33年11月
カウンセリングの理論と実際	少年補導	昭和33年12月
ボーダーライン層の生活構造の事例研究	日本社会福祉学会年報	昭和34年12月
A Comparative Study of Casework, Counseling and Psychotherapy	関西学院大学欧文紀要 第8巻	昭和34年9月
自殺とその動機について	関西学院大学 社会事業学 第1号	昭和35年3月
グループワークの個人的・集団及び 社会的意義役割	関西学院大学 人文論究 第10巻第4号	昭和35年3月
ケースワークの本質 一特に専門社会事業の一分野として一	社会福祉研究 第2号	昭和35年10月
専門社会事業と宗教	関西学院大学 社会学部紀要 第1号	昭和35年10月
精神医学的ソーシャル・ワークの主体性 確立を目指して	精神衛生 72ノ73号	昭和36年11月
専門社会事業, コミュニティ・デベ ロップメント及び市民参加	関西学院大学 社会学部紀要 第5号	昭和37年5月
なぜ青少年に自殺が多いか	少年補導 8巻5号	昭和37年5月
団地の精神衛生と人間関係	西宮北口団地調査報告書	昭和37年9月
文教的地域社会の自己開発	社会調査報告書・ 地域社会開発の条理	昭和39年6月
「実践福祉社会学」の成立を目指して	関西学院大学 社会学部紀要 第9・10号	昭和39年11月
Importance of Social Aspects in plan- ning for Rehabilitation	関西学院大学 欧文紀要 第14巻	昭和40年11月
その他		